



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役CEO 中原 信一郎  
(コード番号 3840 東証二部)  
問合せ先 執行役員管理本部長 梶川 量由  
(TEL. 03-6823-6664)

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「平成 30 年 3 月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、平成 20 年 3 月期より 9 期連続の当期純損失を計上し、平成 21 年 3 月期より継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しているとして「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。当該状況を解消すべく、不採算事業の撤退、販売管理費の一層の削減及び M&A による事業拡大を図るなど、様々な施策を実施してまいりました。この結果、本日公表の平成 30 年 3 月期決算短信に記載のとおり、連結キャッシュ・フロー計算書においては営業キャッシュ・フローが 154 百万円の収入（前連結会計年度は 135 百万円の支出）となり、連結損益においては、売上高 3,412 百万円（前年比 15 百万円増）、営業利益 19 百万円（前年は 246 百万円の営業損失）、経常利益 49 百万円（前年は 243 百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期期純損失 11 百万円（前年は 987 百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）と前年を大幅に上回りました。

以上のことから、現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在していないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。今後におきましても当社は、さらなる業績の向上に邁進して、企業価値を高めることに努める所存であります。

以上